

ミオカーム内服液 33.3%

【この薬は？】

販売名	ミオカーム内服液 33.3% MYOCALM Solution
一般名	ピラセタム Piracetam
含有量 (1 mL 中)	33.3 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ミオクローヌス治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、神経細胞に作用して、ミオクローヌス（筋肉がピクピク小刻みに動くことによる不随意運動）を抑えると考えられています。
- ・次の目的で処方されます。

皮質性ミオクローヌスに対する抗てんかん剤などとの併用療法

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にミオカーム内服液に含まれる成分に対し過敏症のあった人
- ・重い腎不全のある人
- ・脳出血のある人、脳出血の疑いのある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・出血しやすい人
- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・ハンチントン病の人
- ・腎臓に障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
この薬は、通常、使いはじめ3～4日間は1回12mLを1日3回から開始します。その後、状態にあわせて、1回3mLずつ1日3回の割合で3～4日ごとに増量し、医師が維持量を決定します。なお、1回15～21mL、1日3回まで徐々に服用量を増やしますが、最大服用量は1回21mL、1日3回までです。
- ・腎臓に障害のある人は、通常より少ない量から開始され、症状によって飲む量と飲む回数が調節されます。

●どのように飲むか？

決められた1回量を計量カップではかり、飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・有効性や副作用について、患者さんや家族の方は、十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・この薬を使用中は、必要により定期的な肝・腎機能検査、血液検査が行われることがあります。
- ・眠気、抑うつ（気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、食欲不振、体がだるい）、運動過剰（落ち着きがない、動きまわるなど）などがあらわれることがあります。自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・眼のかすみ、白内障(視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない)があらわれることがあります。必要により定期的に眼科検査を受けてください。
- ・長く使用した場合、横紋筋融解症（筋肉の痛み、手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、尿が赤褐色になる）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
けいれん発作 けいれんほっさ	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
白内障 はくないしょう	まぶしい、かすんで見える、視力の低下、眼鏡で視力が出ない

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	顔や手足の筋肉がぴくつく
頭部	一時的にボーっとする、意識の低下
眼	まぶしい、かすんで見える、視力の低下、眼鏡で視力が出ない
手・足	手足の筋肉が硬直しガクガクと震える

【この薬の形は？】

形状	液剤（プラスチック製瓶入り） 
外観	無色澄明の液
容量	1 瓶中 380mL

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ピラセタム
添加剤	グリセリン、パラオキシ安息香酸メチル、パラオキシ安息香酸プロピル、酢酸ナトリウム水和物、氷酢酸、精製水

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ユーシービージャパン株式会社

(<https://www.ucbjapan.com/home>)

販売会社：大鵬薬品工業株式会社

(<https://www.taiho.co.jp/>)

製品情報部 医薬品情報室

電話番号：0120-80-4527

受付時間：9時～17時

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)